

令和5年度 生坂村 村政アンケート

<集計結果>

1 実施期間

令和5年8月25日（金）～9月11日（月）

2 アンケート対象者

生坂村内の全世帯

3 アンケート回答者（記入者）

- ① 【問1】～【問15】：世帯を代表して一人の方が回答（記入）
- ② 【問16】：現在村内在住の、小学5年生以上、29歳以下が回答（記入）

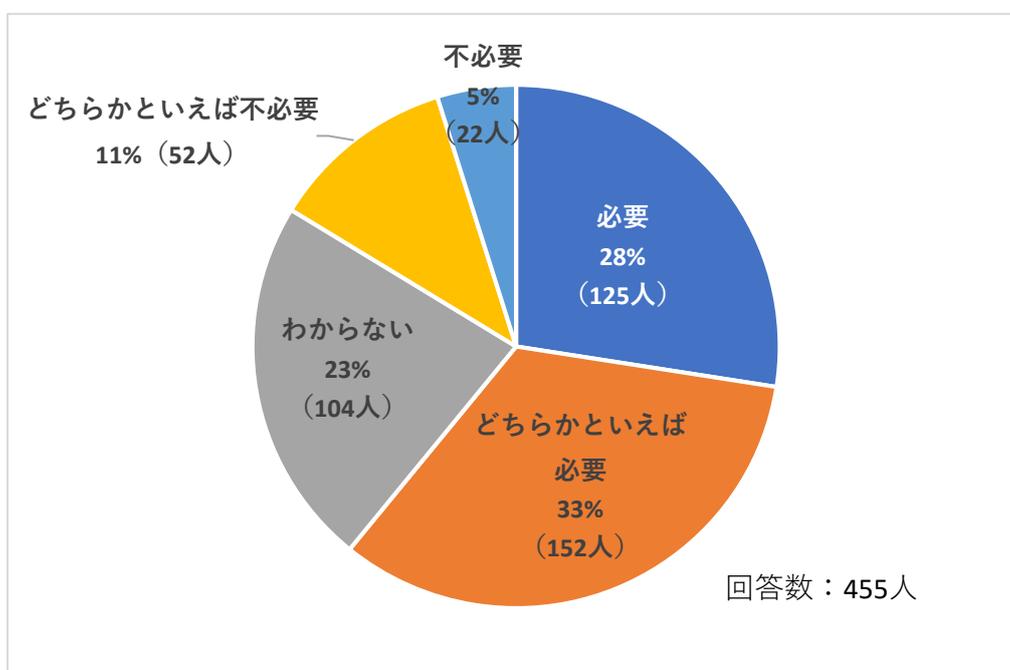
4 回収率

72.67%（666戸に配布、484戸から回収）

1 脱炭素事業について

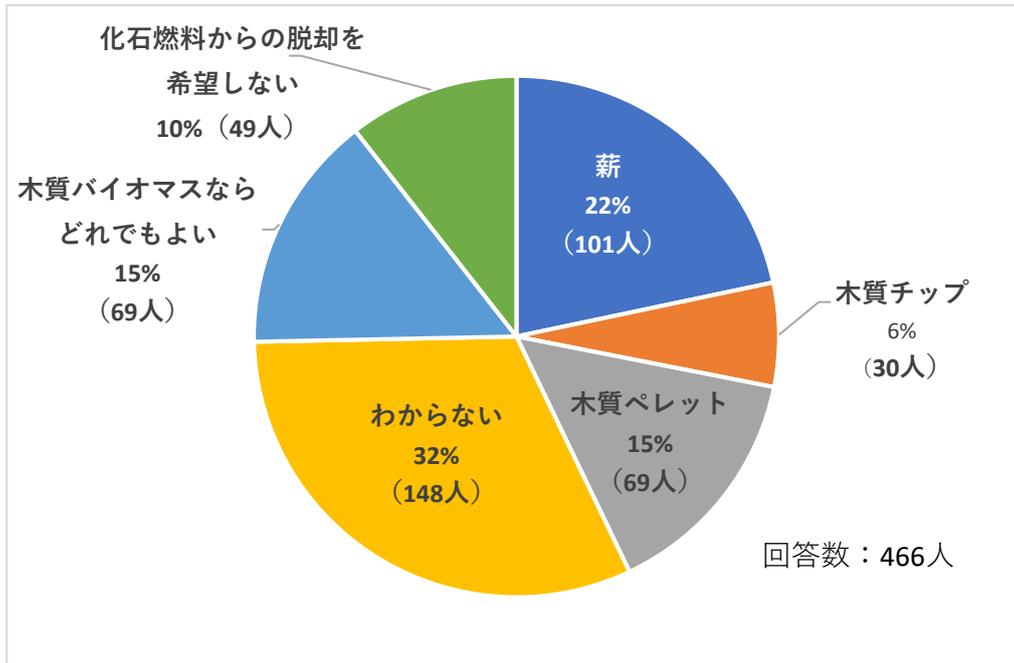
【問1】

生坂村に、太陽光発電や小水力発電、木質バイオマスの活用など、脱炭素実現に向けた取り組みは必要だと思いますか。それとも、不必要だと思いますか。



【問2】

現在、冬場に各家庭で使用している石油ストーブなど化石燃料を使用した暖房機器を、木質バイオマスストーブに転換する場合、どの燃料材を希望しますか。

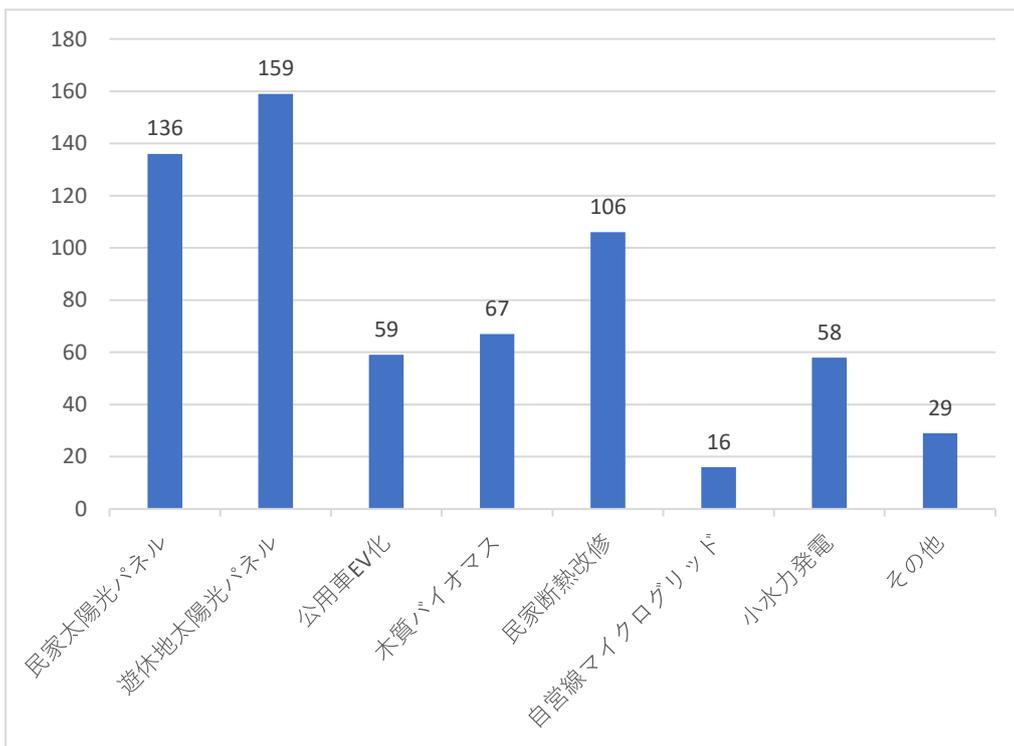


【具体的なご意見等】

- 石油ストーブ(ファンヒーター) は着火の即時性が良い為、それと同様であれば何でも良い。
- 現在、薪ストーブも使用しているが、脱却を希望しているわけではない。

【問3】

脱炭素事業全般に関する意見や要望（複数選択可、自由記入）



【具体的なご意見等】

●民家への太陽光パネル設置について

【屋根以外の設置場所】

- ・昨今の物価高騰により、太陽光パネル、蓄電システム等、詳しく知りたいと考えています。古民家の屋根にも乗せられるのか、自宅周りの使用していない所有地などにも設置できるのか知りたいです。
- ・屋根にパネルの設置を希望しない場合は、住宅から近距離の地上への設置も承認してほしい。

【既設のパネル等】

- ・すでに自分で購入して太陽光パネルを使用している家はどうか。もしくは、途中で太陽光パネルを払い下げしてほしい事はできるのか。発電率の悪い立地の家につけるのは費用対効果が良くないので、線引きの基準を作るべきだと思う。
- ・民家への太陽光パネルの設置とあるが、新築が対象なのか。既存の家にはパネル設置は家主への説明や同意についてどのような方法を取るのか。

【高齢者世帯・空き家】

- ・今でさえ高齢者が多いのに 15 年後には空き家や廃墟が増え子ども達もいなくなり、その屋根の太陽光パネルもそのままごみとなるのでは。
- ・高齢になり住宅を使用しなくなった際の解約についても方向を示してほしい。(例えば施設取り外し費や更新に関しての決まり事等)

【日照・気候】

- ・太陽光パネルはすでに家に設置しているが、思った通りの発電量を得られない上、冬場の積雪があると長期発電が難しくなる。そのリスクを踏まえたうえで 1 年間安定した電力を安く供給できるのか。また、太陽光パネルは寿命もあり、設備更新も 15~20 年毎に必要。その費用も確保してやっていけるのか。水力発電の拡充他、安定した発電能力の割合を増やす必要があると思われる。
- ・日照時間は地区により短小、当地 9 時~15 時で採算の点で不可か。
- ・生坂村は山間地で日当たりの悪い場所が多いので、それをどうするか。

【導入機種】

- ・軽量高品質な太陽光パネルを各民家へ設置する。及び最新の蓄電池の採用も。今回のこの事業において、一番お金をかけるべき項目として位置づけるべきと考える。それによって、これに賛同して取り付けられる軒数が物理的にも増してくると思われる。住民賛同の事業として最も重要な選択になると考えます。
- ・設置件数を減らして、予定のパネルよりも、より最新に近いパネルの導入はいかがでしょうか(より軽量化され発電効率の良い物等)。設置件数は少ないが、モデルになってもらい、村民自ら設置したいと思ってもらえたら、時間は少しかかりますが、確実に印象は変わると思います。
- ・多発する災害を考えると民家への設置は安全、軽量、コンパクトなもの以外は設置すべきではない。
- ・太陽光パネルは、もっと軽量で処理する際、大きく重いものでなく他にないのか

【電気料金、設置のメリット・デメリット】

- ・パネルを設置した住民に何か「得」があるのか。今より電気料金が 1~2 割安くなると説明されたが、料金は流動的なもの、計算上のものであり、あてにならない。しかも加入家庭が少なければ目標に達せられない。現

実的ではない。古い家の屋根に載せるパネルは家にかかる負担は大きく、屋根を傷める可能性は大きい。その時の修理はどうなるのか。今の状態では 20 年間無償で場所だけ貸せ、というだけで何の得にもならない。たとえば、10 年したらパネルの蓄電池が譲渡され、自分の家で発電した電気は自分で利用し不足分だけを買える、ということであれば、参加する住人も増えるのではないか。

【設置後の維持管理】

- ・設置や改修に補助金があれば前向きに考えたいと思います。
- ・太陽光パネル設置に関しては、十分な耐久性とその後のメンテナンスや、維持管理の保証と発電を売電ではなく、その民家で使用できるものとなるよう進めてもらえるようお願いします。
- ・空き家が増える中、対応の方法について、維持管理も含めてしっかり検討して欲しい。

【いくさかてらす】

- ・各民家への太陽光パネル設置の方が他の案より良い。今は遊休地等であっても地主が思うように変更することが不可能になる可能性が高い。又、有料ではなくなるとすると尚更だ。村がどこまで管理し、運営能力があるかも不明。自営線ともなるとその費用対効果も不明だと思う。

【その他】

- ・現在太陽光パネルをメーカーで設置して売電をしている話を聞くが、その取組みができれば良いと思う。(設置のみで個人の負担は少ないと聴いている)
- ・エコキュート等設置

●遊休地等への太陽光パネル設置について

【景観・自然環境】

- ・遊休地へのパネル(太陽光)等の設置に景観等に配慮して
- ・できれば遊休地のパネルは景観から避けたい。
- ・景観への配慮。草刈りなどの管理は。土砂災害助長のリスクは。
- ・太陽光パネルは、自家発電できる良い面もありますが、パネルが村全体に設置されることにより、景観が悪くなるという懸念があります。また、パネルが寿命を迎えた際にたくさんの廃棄物が出てしまうという問題があると思います。目先のことだけでなく、もう少し先のことも考えて設置するべきなのではないかと思うのですが、そのあたりは村ではどんな風に考えているのかを聞ける場があると良いと思います。
- ・景観の損ねる上、使用期限を迎えたら再生不可能な産廃となるため、設置には慎重にあるべき
- ・オフサイト PPA は景観という生坂村の重要資源を損なう。
- ・メガソーラーは景観の悪化や自然破壊、近隣への電磁波被害など問題が多いため、やめてほしい。

【遊休地・荒廃地】

- ・遊休農地の解決が急務
- ・遊休地整備も併せ太陽光パネル設置する。設置後も周辺整備を継続実施する。
- ・遊休地への太陽光パネルの設置についての基準はあるのか。(土地主以外の周りの家主たちへの説明や同意などはするのか。反射光問題や災害時のパネル破損による感電事故の可能性などあるが。)

【維持管理】

- ・ 景観を損ねないことが大前提だが、メンテナンスや不具合、有害物資の漏れ等の対処方法を明確に開示する必要がある。
- ・ これから農地に太陽光パネル設置がだんだんと多くなると思うので、計画段階で特に大きく平らな農地は複合的な利用（屋根に太陽光パネル、下は農作物を作る）ができるか検討してほしい。またパネル周辺が雑草で景観がわるくならないようにしたい。

●PPA 事業全般について

【パネルの廃棄・リサイクル】

- ・ 将来的、太陽パネル廃棄にかかる費用や、自然環境への影響は、どのように考えているのでしょうか。
- ・ 太陽光パネルは、耐用年数が短い上、廃棄が今問題になっている。時代に逆行している（今全国で問題になっている）
- ・ 太陽光は発電しなくなった後の処理が心配

【公共施設 PPA】

- ・ 山清路の郷資料館にも相当数のソーラーパネルを設置するとあるが（環境省の提出資料より）役場との指定管理に基づいて管理運営している私どもが全く何も聞かされていません。このような物事の進め方はあまりにも非常識ではありませんか。本当に今後どうなりますか。

【太陽光以外の再生可能エネルギー】

- ・ 里山、自然を残し、太陽光以外で電力を補うことは考えられますか。村独自で計画停電のような、増やす事だけでなく減らすことも考えてほしい。
- ・ 太陽光以外でのエネルギーをみつけてほしいです。（メンテナンスやパネルの寿命があるし、温暖化のため）

【事業への期待】

- ・ 脱炭素社会を作ることによって異常気象がなくなると思われるので早急に取り組んでほしい。オール電化により火災予防、停電時の生活も普段に近い状況がつかれるメリットは多い。
- ・ 太陽光発電を行うのであれば、現状電気のないエリアを開拓し、新たな住宅地を新設し、新規流入者を募り、人口減、世帯減対策に予算を使用した方が良いのではと思います。中部電力とは良い形で提携し村全体の電力需要を高め、企業誘致も視野に置く形で村の価値を上げることが、将来的には有効だと考えます。

【事業への不安】

- ・ 今現在の電気使用量と生活水準のまま、パネルとバッテリーを使っただけの各家庭のオフグリッドに、1家庭100万円強あれば実現出来ると聞いたことがあります。そういった、各家庭もしくは集落ごとに実結するエネルギーの自給自足を目指すならば良い取り組みだと思うが、現行の計画のように”脱炭素ビジネス”ありきだと、不安しか感じない。この村の美しい里山風景が壊されるような計画は断固反対する。
- ・ ソーラーパネルは経年劣化があるため、大量に用いての課題解決は持続可能ではなく本末転倒。

●木質バイオマス活用

【森林資源の保護・災害】

- ・ 森林の再生(景観と災害への対応)に配慮して

- ・村内の山林を木質バイオマスで有効活用し山林の管理を村が進めていく必要があります。（生坂村の山林は荒廃が多く見られ倒木や土砂災害が発生しているが、個人では手が入られていない。）
- ・山林の管理に村が補助金を出す制度を新たに新設する。

【ペレット工場】

- ・国産ペレット等は、外国産に価格面で苦戦しているの、（現在、外国産が 90%以上のシェアを占めている）工場建設は、慎重にしてほしい。
- ・適切な山村管理を考えているとのこと。薪、木質ペレットなど、村外への販売はありえないのか。
- ・当村 1 村だけでバイオマス工場を運営するのは、木材を集めるのがむずかしく、松本広域森林組合の加入が必要と思う。また、工場の運営は技術的にむずかしい。

【木質バイオマスストーブ】

- ・薪等を使う必要性は大変重要かとは思いますが、高齢化等を考えると断熱を先に考え、その後にストーブ等を考えた方がよいと思う。
- ・ペレットストーブにした場合、高齢者はそのペレットを家の中のストーブにくべたり、残りの灰が出た場合の処理ができるのか。火災の不安なども含めて。
- ・現在薪ストーブ使用中。将来的にはペレット導入も考えている。
- ・山林が荒れ放題。その木材を利用してストーブのチップ又はペレットの材料としてほしいです。

【その他】

- ・間伐材等の木材のみの利用だけでなく、再生産力の高い竹も木質バイオマスとして利用できると良いかと思えます。
- ・林業が放棄されている山を自然に戻す方法が、ヨーロッパ中心に行われていると聞いた。信毎の連載の C・W ニコルさんのアフアの森のようにして、ゼロ・エミを目指す企業とタイアップするなどできないか。

●民家断熱改修

- ・安価で効率が良いと感じます
- ・民家断熱改修や太陽熱温水器の設置が良いと思う。
- ・民家への太陽光パネルの設置、及び民家断熱改修を進めてください。
- ・古い家が多いのでやるべき。

●自営線マイクログリッド

- ・自営線マイクログリッドは本当に必要なのか検討し直してほしい。
- ・草尾ぶどう団地にて近年停電がしばしば起こります。施設園芸では電気は必要不可欠ですので、災害に強い電力網を構築してくださることを希望します。

●小水力発電

- ・生坂ダムからポンプアップしている上生坂耕地整理組合の農業用水を有効活用してほしい。例えば大量の水が犀川に流れ込む最終地点、池坂橋橋架下（やまなみ上側）に発電機（充電装置）を取り付ける。（期間限定）

●その他

【人口減少】

- ・生坂は中信地区でも最も過疎化が進んでおり 10 年位の人口は大幅に減少します。調子づいて脱炭素等先行といっても小人口だから可能かもしれないが、松本市や安曇野市では困難だと思われます。ただ政府の PR に使われるだけでは。近い将来単独で成り立たない事を考えると安曇野市等と歩調を合わせて数十年位の地域を考えて、合併等進めていくべき

【脱炭素事業全体への賛否】

- ・持続可能な生坂村を構築するために必要な事業だと思います。
- ・村が進めている環境省の交付金を活用したゼロカーボン事業には賛同できない
- ・何をやるにも資金が心配。初期投資金がかかる事は、どんなに良い施策でも参加無理。
- ・脱炭素が目的なのではなくストック（化石燃料）に依存した社会から、フロー（太陽光熱、水、木質資源）と共存する社会への転換が必要だと考えています。太陽光パネルは製造時に使った CO²がその後の運用時より多い（ライフサイクルコストが回収できない）という指摘も多く、賛成できない。電力については金熊川や犀川での小水力発電所設置に本腰を入れるべきだと考える。家庭で消費するエネルギーは 30%家電、30%給湯（風呂等お湯）30%暖房 10%その他といわれている（オール電化は給湯暖房を電化したもの）。国の補助金は電気に対するものにしか使われないと説明会で聞いたが、給湯と暖房にもっと対策を講じるのが脱炭素、化石燃料からの脱却を目指す本筋と考える。太陽熱温水器により家庭の給湯のエネルギーを大幅に削減できるので、これを検討して欲しい。薪ボイラーの活用には賛成です。
- ・詳細がわからないので回答できません
- ・ゼロカーボンも大切だと思いますが、それよりもまず道路、働く場所の誘致等、課題がたくさんあると思います。
- ・高齢化率 42%、65 才以上、もうそんなには頑張れません。
- ・脱炭素への取り組みは必要だと思うが、60 億円かけて行う事業は必要ないと思う。
- ・生坂村だからこそできる小さな取り組みの積み重ねが脱炭素につながっていけば良いと思う。
- ・村民が有益ならどれをやっても良いが、どこかの会社がもうけるだけの事業にならなければ良い。
- ・以前行われた説明会に出席しましたが、やはり、デメリットの部分を聞きたかったです。必ずデメリットというものはあると思うので、それについても村民の方に周知すべきだと思います。対応よろしくお願いします。（デメリットの説明がないと余計に怪しく信用性が薄らぐ。）
- ・脱炭素事業したいは大変良い事だと思いますが、生坂村規模の村で村が考えている様な事が可能なのでしょうか。将来（近い）村のありかた自体が心配です。
- ・小さな村に大きな事業で適当に遂行されるのが心配。優秀な職員を直ちに雇用して受入体制を整える事が必要。
- ・脱炭素の取り組みについては賛成。現在の村の方針や事業内容については反対。『孫の代』まででは困ります。持続可能ではない、もっと議論と対話を深めるべきと思います。もっと善く出来る！！
- ・脱炭素に向けての村の取り組みは評価するがそもそも発電資源が少ないこの村で電力全てを自給する規模感に疑問がある。
- ・そもそも今回の事業が脱炭素実現に本当につながるのか、環境にやさしく自然を守ることになるのか疑問である。説明会でもそれら疑問をもっている人たちの問いに、村は正面から答えていなかったと思う。これだけの大きな事業を行うのにきちんと説明責任が果たされていないと感じる。それなのに調査、設計を行う者は決まり、既に大きなお金が動き、事業はどんどん進んでいる。本当に村民のためと考えるなら、説明責任を果たし同意を取った上で行うべきではないか。
- ・公的、国の方針に従います
- ・速やかに実行して効果を出してほしい

【財政負担増への懸念】

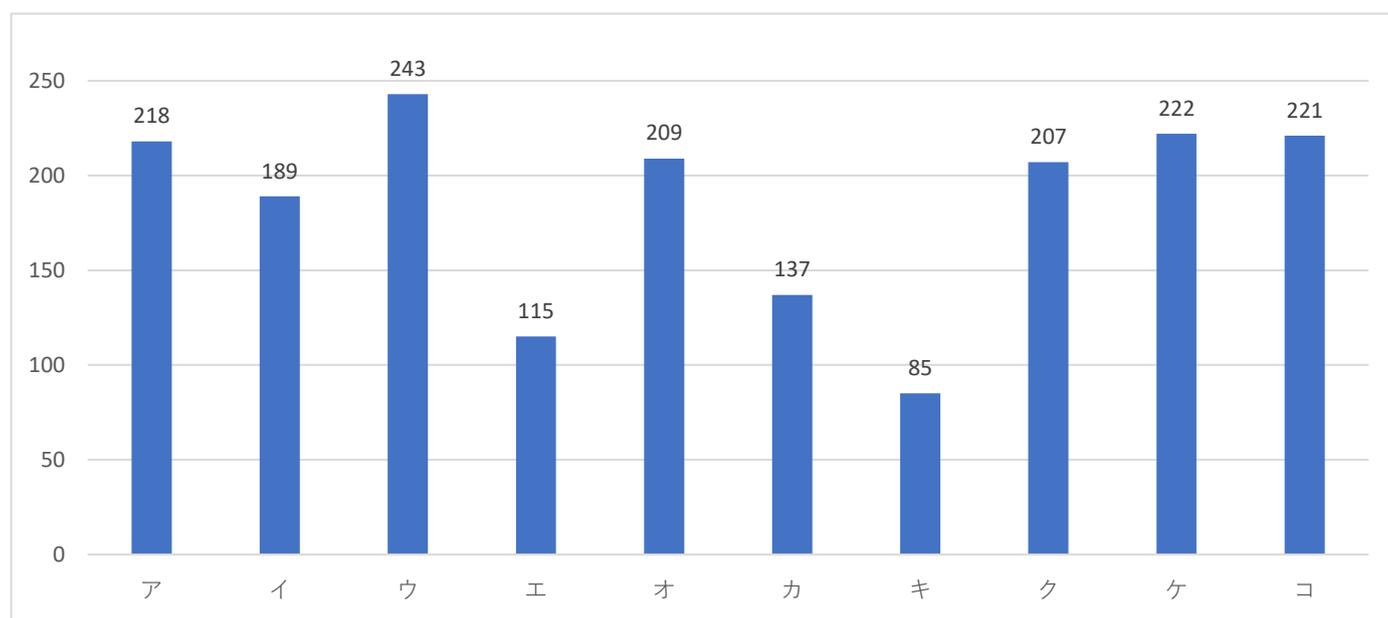
- 交付金により当該設備等を整備して、後の維持管理費や更新費用の負担増が村財政を圧迫するのではないか。また、実務として事業を担う職員への負担が重くなり、他の一般行政サービスの質が、今以上に低下することが懸念される。一体誰が望んでいる事業なのかが全く見えていない。
- 脱炭素は理解できるが、パネル設置（民家、遊休地両方）した場合の将来の維持コスト等、検討する必要があります。今回のような村政アンケートをするのであれば、維持コスト面の費用概算も必要と思います。
- 小水力/木質バイオマス、F パワー事例のように稼働率に不安あり、太陽光等他の事業の足を引っ張ることにならないか
- 一部の人が豊かになるのではなく、本当の意味でみんなが豊かになる環境作りを進めてほしいです。地域の未来がよくなるよう、長く続けられる方法が良いです（村の運用費があまりかからない方法）
- いずれにせよ、個人の支出。村の資金も出す事になるので、基本的な生活を圧迫することになる。物が値上がりしている上、年金が減らされるなど支出がますます増えることによる生活の不安が増している。
- 脱炭素事業は永続的に子々孫々 発展する事業でなければならない。一時的に支給される交付金を将来にわたって有効的に活用し資金を運用するためには、(株)いくさかてらすの「経営」がキーポイントである。この会社の「長期経営計画」を明確に示して「経営理念」を掲げ忠実に実践していかなければならない。

2 生坂村の将来のあり方について

【問4】

将来、生坂村はどういう場所・環境がいいと考えますか。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ア 健やかに子どもが育ち学び続けられる村 | カ 山林が管理され動物とも共存している村 |
| イ みんなが元気にここに暮らせる村 | キ 全国的に見て自慢のネタがある村 |
| ウ 気持ち良くゆったり暮らせる村 | ク 子どもが住み続けたいと思える村 |
| エ 活気にあふれにぎわいに満ちた村 | ケ 一人ひとりが健やかに生き生き暮らせる村 |
| オ 自然豊かで美しい風景が広がる村 | コ 災害時にも安心できる設備や基盤のある村 |



【具体的なご意見等】

【人口減少】

- ・魅力もなく人口は減るばかり。できる事なら村から出たいと思っている。
- ・人が減って自然に自然豊かになっていく。今は上生坂地区だけを中心に行政が頑張ってるがピークを過ぎて下っていていると思う(良くはならない)
- ・人口減少を食い止めることが最優先課題。人がいなくなってしまうと、理想も何も無い。空き家バンクのやり方をもっと考えなおすべき。こんなやり方では良い人は入ってきません。いくさか大好き隊員にやらせるのではなく、村のことを本当に心配している役場職員がやるべき。
- ・人口減少に対する対策が見えない。・何をすれば村民益になるのかが分からない。

【移住・人口増加】

- ・村民の意見を無視しない村
- ・活気ある村にするには、特に若い人の雇用確保が最も重要なので、移住など関連情報の発信にもっと力を入れてほしい。

【就労の場】

- ・村内に働く場所が少ない。村外からの移住者が多いが子供が高校を卒業すると村を出ていってしまい結局、年寄りきりになってしまう。
- ・農業にしても企業にしても、働くことができる雇用の場が数多く、多種になれば住み続ける事は難しい。企業誘致は雇用確保のための選択肢の1つ。また、農業が主なのか、就業が主なのか、どういう人々に村に住んでもらいたいかによっての、住居環境の整備が優先されなければ定住するのは難しい。
- ・子供が働ける村。

【村民間の協調】

- ・都会のように隣は何をする人になりつつある小さな村。子供がどこの子供なのかとならず、お互いに関わるといいかな。
- ・困った時は助け合ってほしい

【公共交通】

- ・子どもたちが、村内外で活動できる機会を作るために、交通整備をしてほしい。生坂村は少人数ならではの丁寧な教育を受けられ、1人1人に責任を持てる環境にあると思います。一方で、村外で大人数での活動をするための機会が持ちづらいです。大人数や村外でしかできない活動をするための機会を得るために、親の送迎という負担が伴います。ガソリン代、時間的拘束、それは大変です。村内でできない体験を、村外で行えるような環境がほしいです。例えば明科～目的地までの交通費の負担の補助など、それを行ってどのように自分自身が変われるか、村に生かせるかなどのレポート提出の上で、オーディション形式で〇万円の年間補助みたいなものでうれしいです。
- ・ア) ク) 高校生とお話する機会がありますが、皆口をそろえて※①『私たちは生坂村に閉じ込められている』と言います。交通の便の悪さは※①『絶対にこんな村出て行く』に繋がっていきます。ア) は親目線です。お金をかけられない状態は理解していますが、町中は遊びに行く所、住むなら田舎と思ってもらえるよう、子供達に投資するつもりで交通にも力を入れてもらいたいです。(カ、コにも通じると思います。)

【小売店・病院等】

- ・最低限コンビニと病院は必要
- ・買い物ができる村

【高齢者】

- ・高齢者には不便な村
- ・老人が安心して暮らせる村
- ・高齢者が安心して暮らせる村

【停電】

- ・停電がしばしばあるのですぐ復旧したり、停電したりしにくいような仕組みになるといい。
- ・災害時を前提に、個人が電気に頼り過ぎていることを自覚し、停電時の対処方を考え、災害時の行動の仕方に各地区や村中が盛り上がった中で、「安心できる設備って何だろう」に繋がる方向が望ましい。しかし現在進行中の太陽光発電システムは村民の数に対して規模が大きすぎると思われる。

【自然・景観】

- ・民家への太陽光パネルの設置は、自然豊かで美しい風景が広がる村を打ち消してしまう。想像してみてください。あちこちに太陽光パネルが光り、開かれた山林に太陽光パネルが光る。気温は上昇し（パネルの反射熱）とても自然が豊かな風景とはほど遠くなる。

【山林・竹林】

- ・荒廃した山村（人工村）を整備し、間伐材を生かした産業を育成する中で、人と動物との境界が明らかになったらと思う。竹村を整備すべき、伐った竹は竹炭等に。
- ・現在村が抱える一番の課題は人口減少である。それらを解決するためには、村の特色ある資源の山や川をしっかりと産業に結び付ける政策を考えてほしい。全国でも生坂村と同じような規模で成功している事例（岡山県西栗倉村等）を参考に 100 年後の豊かな生坂村であってほしい。ソーラーパネルが大量に敷き詰めてある村に魅力を感じる人は少ないと思う。
- ・河原や道路沿いのアカシアなどの木を切りすぎないでほしい。松なども松食い虫ではなく酸性雨の影響で枯れていると思う。どんな木も切り過ぎは良くない。木々の多い村が良い。
- ・現在、脱炭素事業から生まれる雇用は山の整備が中心だと思います。この事業にかかわって細く生きていこうと考える会社より、このメリットを生かし村外の企業へ誘致を働きかけるチャンスかと思います。産業、雇用の創出はどの様にしていくのか具体例を示していただきたいです。

【脱炭素事業への賛否】

- ・余りにも都合が良すぎるのではと思われるかもしれませんが、世界がこんな時だからこそ目指すこととして必要だと思います。
- ・太陽光パネル反対
- ・自然豊かで美しいだけでは生活ができない。太陽光発電や蓄電池を導入する必要がある。遊休農地も現状は草だらけであり、太陽光パネルを設置した方が、まだ良い。
- ・このプロジェクトは横文字が多く理解しにくい。小さくていいので説明を書いてあれば親切だと思う。村民の関心も深まっていくのではないかな。遊休地にパネルの設置は反対。そんな村に子どもは住みたいとは思わない。自然を感じるギスギスしない村が良い。便利で美しい村が良い。

- ・生坂村は現時点のままでいいです。
- ・今ある自然を生かす事をすべきで他で見る様子からパネルだらけの風景は自然を生かすとは言えない。上のアンケートにある「子供」の関係する文面からすると自然との生き方を活かすことの方がより良いものになるのではと思う。山林を整えつつ生坂村ランドを考えるほうがオリジナルのように近づくように思う。
- ・上記項目全て望まない村民はいないと思います。全て〇ですが、どうやって実現させるかが問題です。
- ・全部当てはまりますが難しいと思いますが一つ一つクリアーして行くしかないと思います。
- ・理想的な将来像であり異論は全くないが、総花的であり過ぎると思われる。重点施策に焦点を絞ってはどうか。一步一步着実に前進して行きたい
- ・コ…太陽光パネルからの発電を売電だけでなく、災害時の各地区の避難所へ蓄電池設置して有効利用できないか。オ…いくさののぶどうのブランディング力が高まっていると感じており、村営 or 民間施設でもかまわなないが観光ワイナリー園を作ってはどうか？勝沼ワイナリーにもなれると感じる

【行政】

- ・村の役場の若い職員がすぐ辞めていることを心配しています。今の世の価値観を理解して職場環境を整備しないと今後行政機能に深刻な影響が出ると思います。
- ・若い人が入り次の村を作って行ってもらいたい。
- ・現状の村政運営では生坂村の将来は無い。
- ・まずはこれら全てに近づけるように悪行を止め、しっかりと町おこしを考えてほしいと思う
- ・後付けは民主主義からの脱却

【その他】

- ・小さな村ですが村民の幸福度が高い村になってほしいです。
- ・ゴミゼロの一日に限らず村内全体で全員での山道整備などを行う方向に向けてボランティア組織をつくる
- ・道路整備してほしい（安全にウォーキング、ランニング、自転車走行、通学ができる道）
- ・自然を残しつつテクノロジーも最新のものをとり入れてほしい。
- ・キについて TV放映などにより、かあさん家のおやきが好評みたいですが、作り手の高齢化で、大変だと思うので、村がもっと力を入れて、炭焼きおやきを継続していただきたいと思います。
- ・食物連鎖の頂点にいる人間が鹿や猪を食べなければ獣害が起きるのは当たり前。ジビエ料理の特産化を。
- ・村民一人一人が自分の村に誇りを持つ事ができる村作り
- ・生坂村の歴史館
- ・今の子供たちが大人になった時に住みやすく、住み続けたいと思える村を今から考え、つくり、目指すことが、未来の生坂の地域の活性化にもつながる気がします。
- ・【問 16】若い世代へのアンケートをただ聞くだけでなく、ぜひ真剣に向き合って何か実現できるものがないか考えてほしい。また、いきなり聞かれても子ども達も何を書いたらいいのか分からないかもしれない。将来を考えるなら学校でも低学年から継続して自分の住む環境、将来をどうしていきたいのか学ぶ時間をとる必要があるのではないか。
- ・形式だけの伝統行事や、意味のない役員の仕事などに追われるのではなく、自分のペースでゆったり暮らせるようになってほしい。
- ・地区や常会によって備えに差が大きい。その常会によって意識の差もあるが、備えのない所ほど、人口が多くて、多様な人が住んでいて、いざという時のつながりが少ない。最低限の備えを村で決めて各々の常会に義務化する必要があるのではないか。

【具体的なご意見等】

●EVについて

- ・電気自動車は良いと思うが、まだ充電できる場所が少ない。
- ・EV車の充電スタンドの自宅設置補助
- ・シニアカー・自転車（電動）の購入補助。ちょっとした移動にも車を使う方が多いが、歩くことで健康増進や自転車、シルバーカー、シニアカーにする事で環境に優しくなると思う。
- ・車種にもよるが、EV車の充電を家庭で行う際の契約アンペア数と、その為の設備工事についての現状把握をどこまでされているのか。現設備での家庭での充電のハードルは高い。
- ・数年に1度、長時間の停電があるので、これからの天候ではますます増えると思われる。猛暑もしくは極寒期に、太陽光発電、蓄電機能のあるEV車の購入補助があれば、ゆくゆく利用したい。

●省エネ家電について

- ・猛暑の夏が続いているので省エネエアコン購入の補助があればいい

●太陽光発電設備について

- ・設置した場合の将来の維持コスト

●購入補助事業等について

- ・何%補助するのかわからない
- ・電気関係の補助は新エネルギー会社いくさかてらすが扱うので必要ないのでは。

●高密度・高断熱住宅の新築・改修補助

- ・断熱改修に対する補助金の拡充を希望します。

●山林・木質バイオマスについて

- ・山の整備、保全
- ・電力を充実させるのにペレットストーブを充実させるのは、どっちつかずの印象。
- ・昔は木材を出荷していたと聞きました。そのノウハウを踏まえ、森林整備に力を入れて頂きたい。村の宝である山を整備することで災害被害予防、獣被害予防、水源復活、景観などから色々なメリットが生れてくるのではないのでしょうか。
- ・大地の再生ワークショップなど、滞っている水の流れを自然に戻す環境再生法の学習会の開催・オーガニック給食の実現（大量のエネルギーを使って作られる化学肥料・農薬を使わない農業は脱炭素の取り組みにもつながり、虫を殺さない、水を汚さないなど環境にもやさしい）・身近な昆虫や鳥などを見つけて学ぶなど、生物多様性を学ぶ学習会の開催

●小水力発電について

- ・水が豊富なので小水力発電をもっと取り入れられないか。複数の専門家に意見を求めてほしい。

●その他

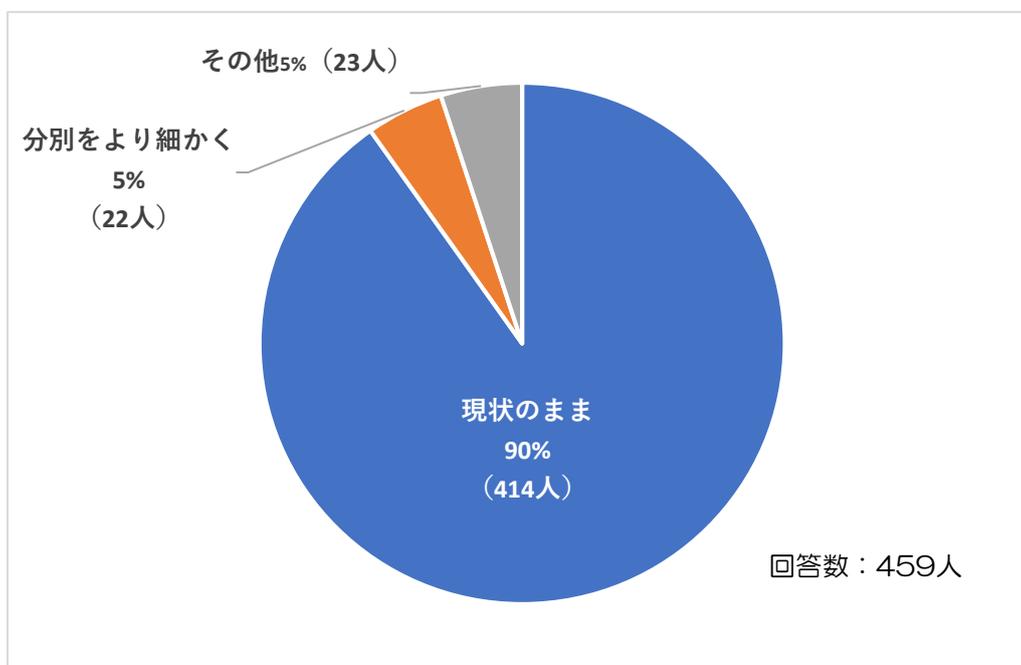
- ・村の予算を適切に使ってほしい。
- ・世界の脱炭素の進行状況次第だと思いますが、生活必需品で替えなければならない物があれば、全ての物に補助金を出してほしい。

- 荒れた農地や汚れた道路が目立ちます。住民による共同作業では既に限界に来ていると思う。行政主導で行ってください。
- 高田さんや矢野さんが行っている、環境土木、大地の再生の手法、技術、考え方を村の土木工事にも取り入れる。高田さん：以前屋根のWS 来ていただいています。矢野さん：大地の再生、結の柱づくりの活動をされています。
- 子供たちの為にお金を使ってください。
- 近隣自治体には、薪・ペレットストーブ購入補助、高断熱住宅改修補助等あります。薪ストーブ導入時に無くてびっくりしました。
- ゼロカーボン対策は個人的な利益供与ではなく公的に利益が生じる対策を考えるべき
- こんな事より別に回してほしい
- 行政と議会にはもっと地に足のついた施策を考えて欲しい
- 必要電力量を減らす取り組みにもっとスポットをあててほしい。
- そもそも今回の事業は村民一体となっていくと言っているのなら情報の透明化や村民の意見を取り入れる努力をもう少ししてほしい。
- 気候市民会議のような幅広い年代、偏りない性別の人が一緒に学び考えて提言ができる場の設定
- 94 才 1 人暮らしのためむり

4 家庭ごみ・資源物等について

【問6】

家庭用ごみ・資源物の分別について、現状のままで良いですか、または、資源物の分別をもっと細かくした方が良いですか。



【具体的なご意見等】

【可燃】

- ・可燃類の量を減らしてコストを削減したいなら、区ごとに削減できたコスト、資源物として売却できたコストを表示する様にしたらよいのでは。

【プラ類・不燃ごみ】

- ・プラスチック製商品（ハンガー、洗面器等）がプラとして回収できるようにした方がよい
- ・不燃ごみの収集、小さい不燃物が捨てられない。
- ・大きなプラ製品の別回収があると良いと思う。例、バケツ、ジョーロ、ポリタンク等
- ・もえないごみ、資源ごみ等の回数が少ない。
- ・プラスチックごみの回収について1ヶ月に1回でなく、2~4回に増やしてほしい。（その1回を忘れると大変な事になるため。保管場所がない。）
- ・小型家電をいつでも出せる場所を作ってほしい
- ・燃えないごみと粗大ごみの分け方がわかりにくい。必要なら細分化も

【ごみ袋】

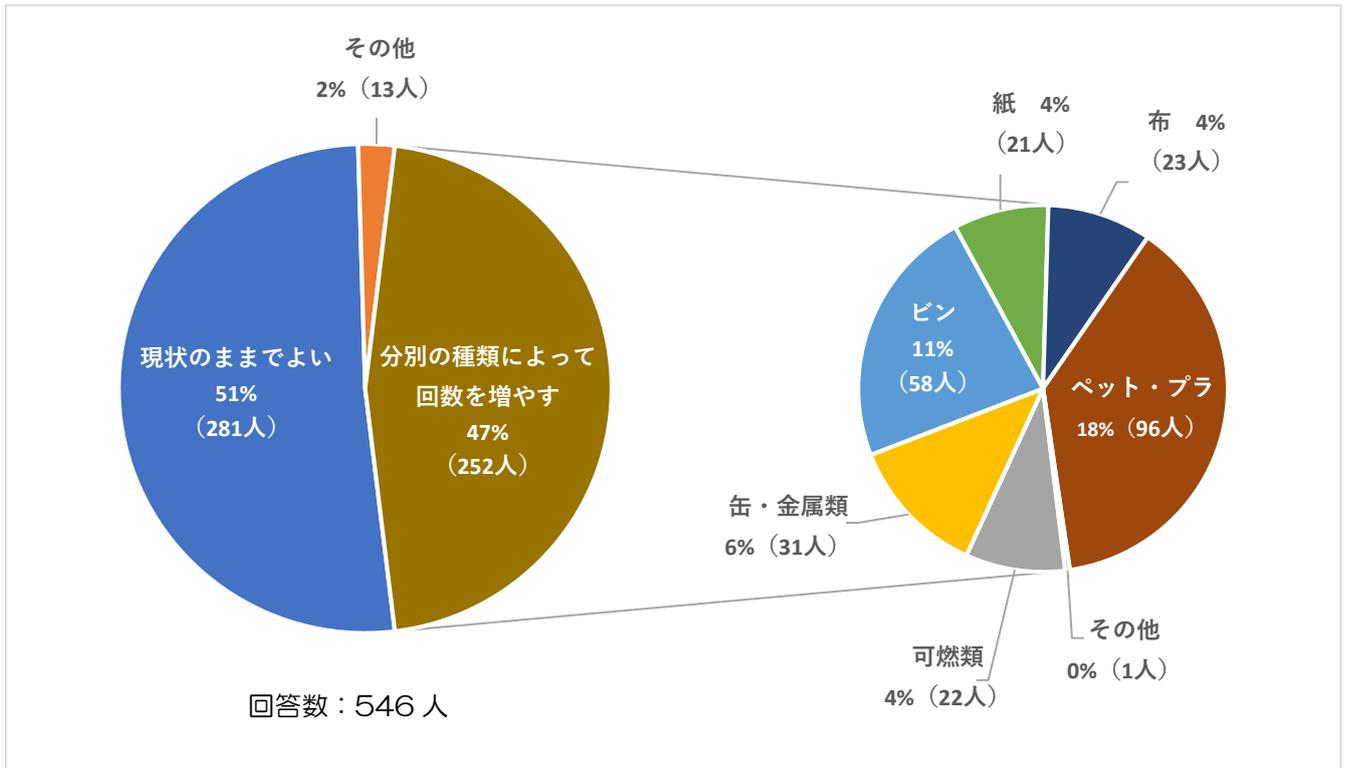
- ・もう少しごみ袋のサイズを大きくして欲しい。
- ・ゴミ袋の強度は検討が必要
- ・袋が高い、小さすぎる
- ・安曇野市のように大型のごみ袋を販売してほしい。

【その他】

- ・分別が多すぎる、細かすぎる。
- ・藤沢商会精機横のボックスの稼動がよさそう。参考にすべきと思う
- ・記名は全国的に少ない為やめるべきである
- ・分別したものが、その後どうなるのか分からないので知りたいです。
- ・分別を細かくすることは良いが、回収頻度が多くなると家の中がごみだらけになるので、分別を細かくするのであれば回収頻度を多くしてほしい。
- ・細かく分別したとして、それがきちんと再資源化される見通しがあるのか、それを先に示してほしい。
- ・毎週1回の収集があれば良い。又、資源物に有料袋は不必要

【問7】

家庭ごみ等を集積所に出せる回数について、現状のままで良いですが、または、分別の種類によって出せる回数を増やした方が良いですか。



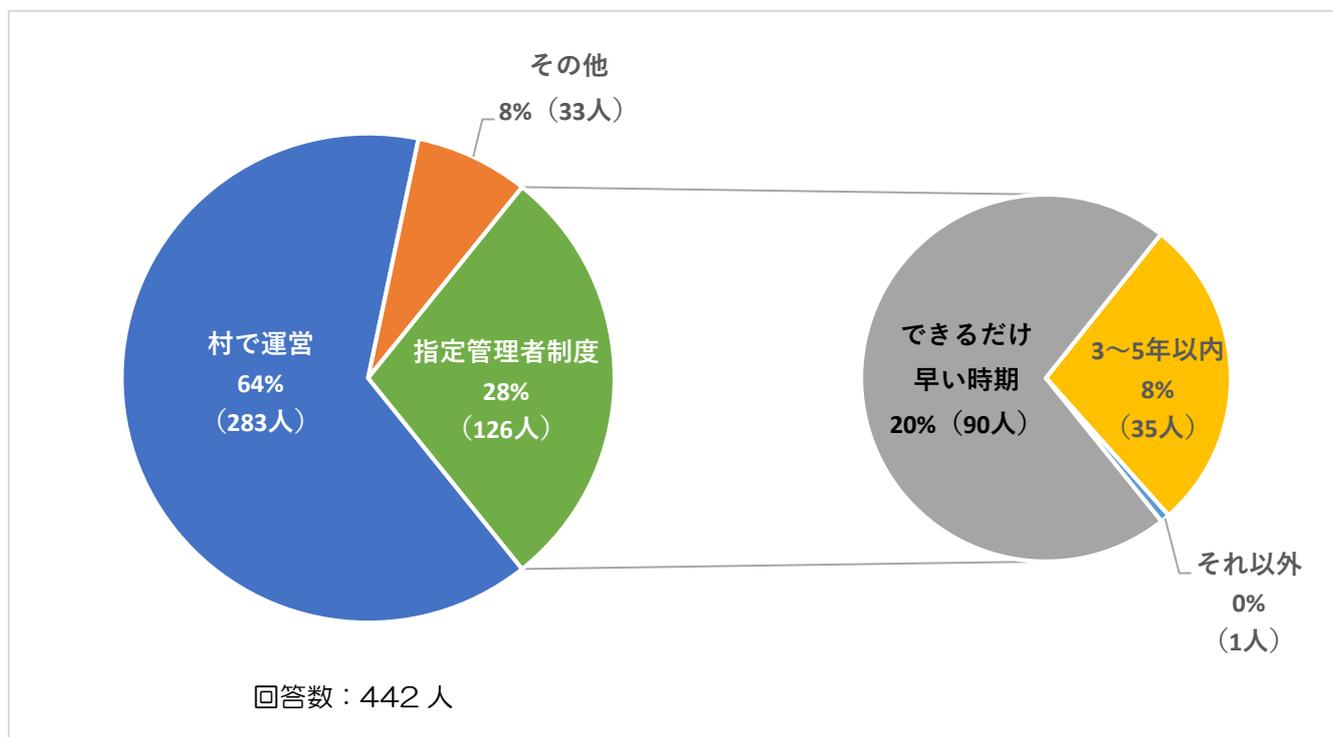
【具体的なご意見等】

- ・現状維持で
- ・紙、段ボール、金属類はしんえこまで持っていけるが、その他布類、ペットボトル、プラ類、可燃類、の地域集荷増やしてほしい。木材分別も追加してほしい。
- ・上勝町の先進事例の良いところを周知
- ・使用済家電の無料受付
- ・集積所にペットボトルのキャップを入れる所がほしい
- ・乾電池の収集場所を増やしてほしい。
- ・可燃は週2回でよいが、他は月2回の回収日が欲しい
- ・回数が減れば不便であるが、不便を解消するために各家庭のゴミが減るはず

5 やまなみ荘について

【問8】

やまなみ荘の運営方針について、今まで通り村で運営した方が良いですか、または、指定管理者制度により運営した方が良いですか。



【具体的なご意見等】

【経営状況】

- ・赤字が多く維持管理が厳しい場合、指定管理者制度もあると思うが、無くならない様にしてほしい。
- ・指定管理に移行となれば運営が難しいと思います。赤字続きではないですか
- ・経費が削減され安定して運営できるなら指定管理制度にすれば良い。そうでないなら村で運営した方が良い。
- ・赤字たれ流しであれば、運営方法等を考える事はすぐにした方が良い。
- ・村の繰入金が多すぎる

【設備の充実・拡充】

- ・料理・味の研究
- ・とりあえず村で運営し、魅力的な所にするため、建物、周辺、お風呂、料理など基本的に考え直す。
- ・天然鉱物ラジウム温泉充実拡充
- ・食堂のメニューに日替定食をやってほしい。魚料理が少ないし、メニューが変動なくてあきてくる。
- ・食堂などもっと気軽に利用できる値段設定にしてほしい。
- ・味付けを工夫したり、メニューを工夫したりしてほしいです。

【従業員】

- ・従業員のサービス向上意識、以前より低いのでは。
- ・人事異動が必要

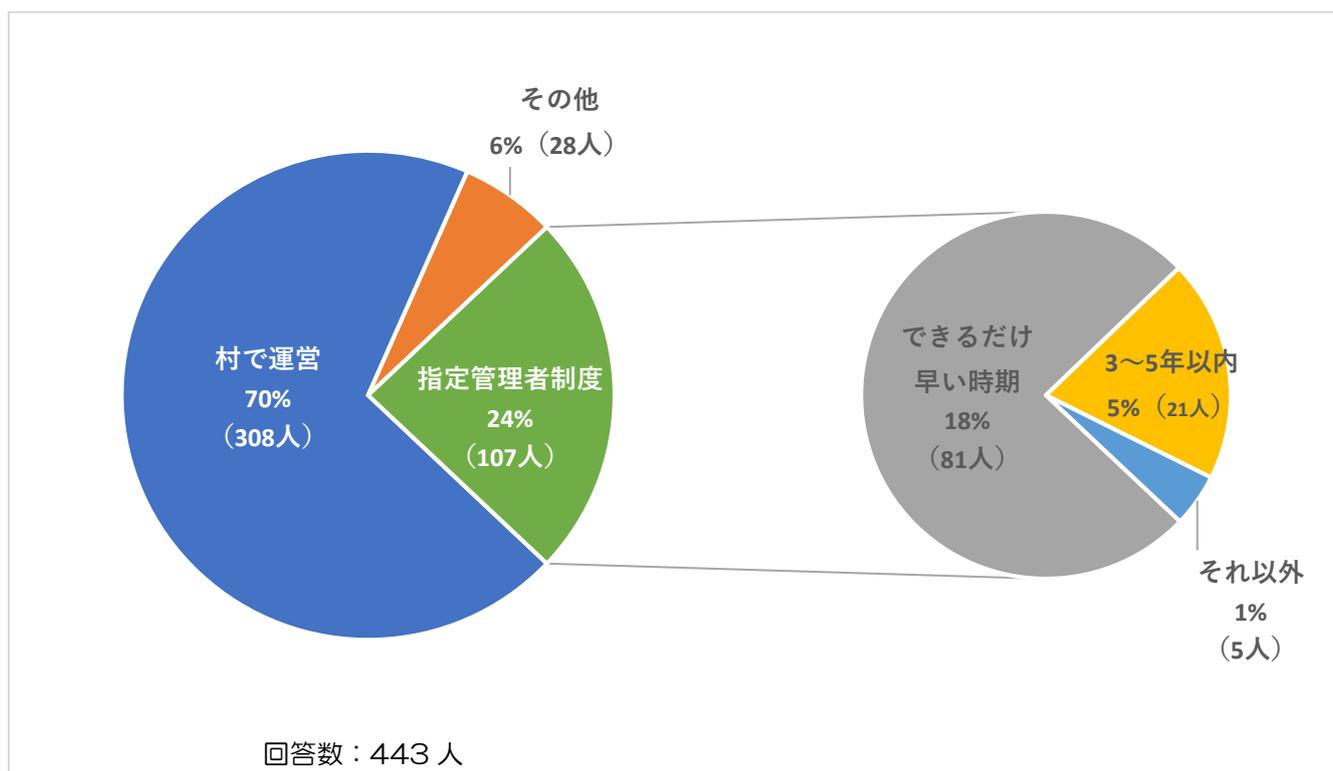
【その他】

- ・現状の収支もわからない、指定管理者制度とはどのようなものかわからないので回答のしようがない。
- ・運営者に係わらず村らしい特徴ある運営で何か考えだして。きっと有るはず。
- ・村で良いと思うが全てがマンネリ化している。対応も悪いように思う。
- ・やまなみが無くなると困る

6 道の駅いくさかの郷について

【問9】

道の駅いくさかの郷の運営方針について、今まで通り村で運営した方が良いですか、または、指定管理者制度により運営した方が良いですか。



【具体的なご意見等】

【経営状況】

- ・経費が削減され安定して運営できるなら指定管理制度にすれば良い。そうでないなら村で運営した方が良い。
- ・赤字で村にとって良くないのであれば運営方法の見直し。ただし、運営が変わる場合は出荷者に不利益が出ないように考慮すべき。

【商品の充実等】

- ・売れる物はある程度量を確保してほしい（おやきなど）
- ・閉店まで品物がある様にしてほしい。特におやき。
- ・あまり他県の品物を置かないでほしい
- ・もっと食品メニューを多くしてほしい。
- ・ここでしか買えない商品を作る

【営業時間】

- ・閉店時間が早すぎる。(できれば6時か7時がいいです。)
- ・運営時間が5時までは早すぎる

【従業員】

- ・非常に良くなった。買い物回数が増えた。
- ・接客があまり良くない
- ・1年を通じて魅力ある売場を維持するのが難しそうだから、流通のプロが必要なのと、狭いキャパをどうするかは課題だと思う。

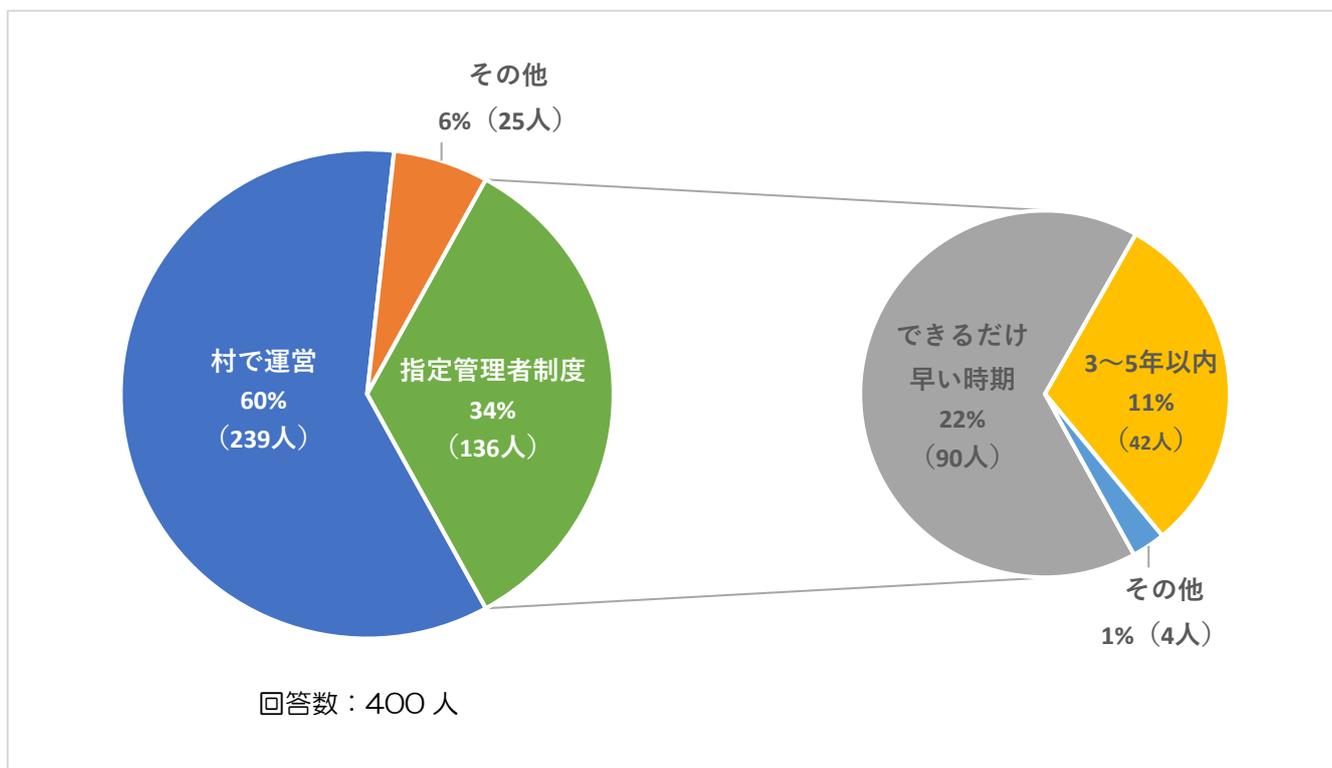
【その他】

- ・現状の収支もわからない、指定管理者制度とはどのようなものかわからないので回答のしようがない。収支内容があり指定管理者制度の概要があり始めて意見できる。
- ・おもしろ味に欠ける
- ・判断できる情報がない
- ・メリット、デメリットを示してほしい。

7 高津屋森林公園について

【問10】

高津屋森林公園の運営方針について、今まで通り村で運営した方が良いですか、または、指定管理者制度により運営した方が良いですか。



【具体的なご意見等】

【設備の充実・拡充】

- ただ作っただけのように感じもったいない。村でのイベント性がもう少しあったら次につなぐ事ができるのでは。グランピング（ペット可能）も。照明もおさえたものとし、夜を満喫。（ランプなど）
- 1年を通して利用できるようにしたり、周辺の環境整備をしたりして、もっと稼げる施設にできると思う。

【存続の可否】

- 廃止
- 必要がない（高津屋は）

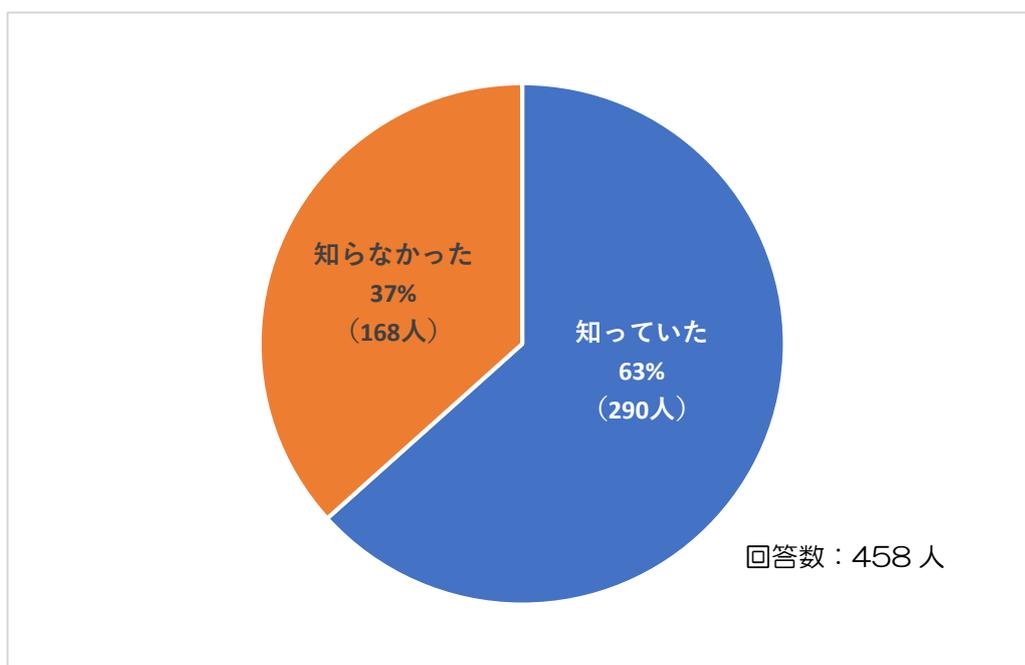
【その他】

- 経費が削減され安定して運営できるなら指定管理制度にすれば良い。そうでないなら村で運営した方が良い。
- 民間に譲渡し、官の凝り固まった考え方に囚われない運営にする方が発展するのではないか。
- 具体的な将来構想も含め、なぜ指定管理者制度なのか、その理由を具体的に明示せずこの質問を村民に問うのは無理がある。
- 運営方針がまったく分からない
- 判断できる情報がない。

8 旧平林家住宅（一星亭）の保存・活用について

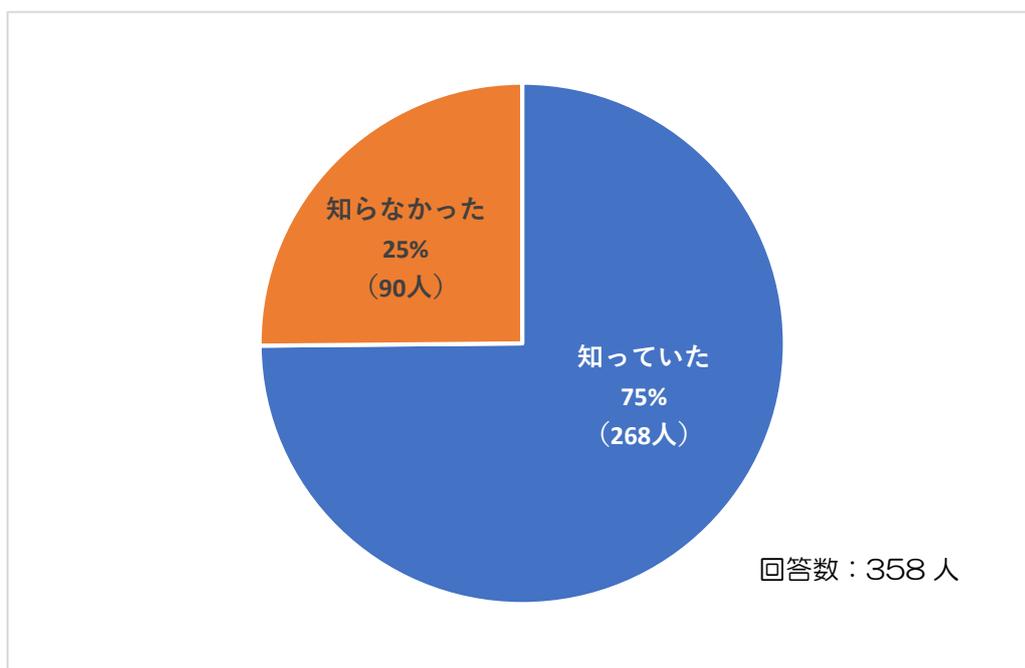
【問 11】

国の登録有形文化財である「旧平林家住宅（一星亭）」が上生坂地区にあることを知っていましたか。



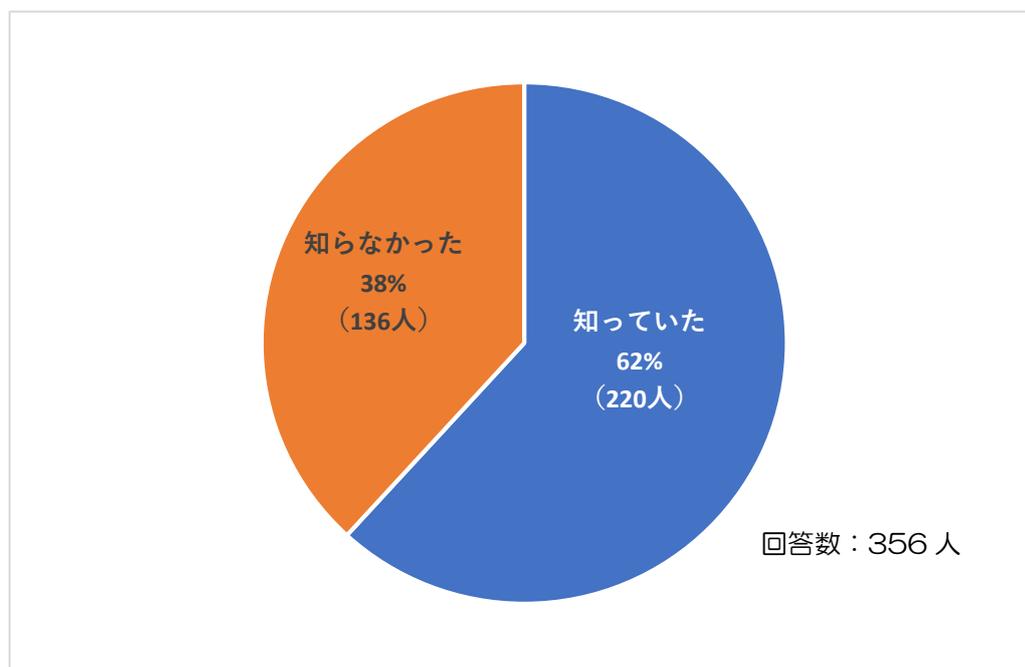
【問 12】

「旧平林家住宅（一星亭）」が、本村出身の法学者・加藤正治の生家であることを知っていましたか。



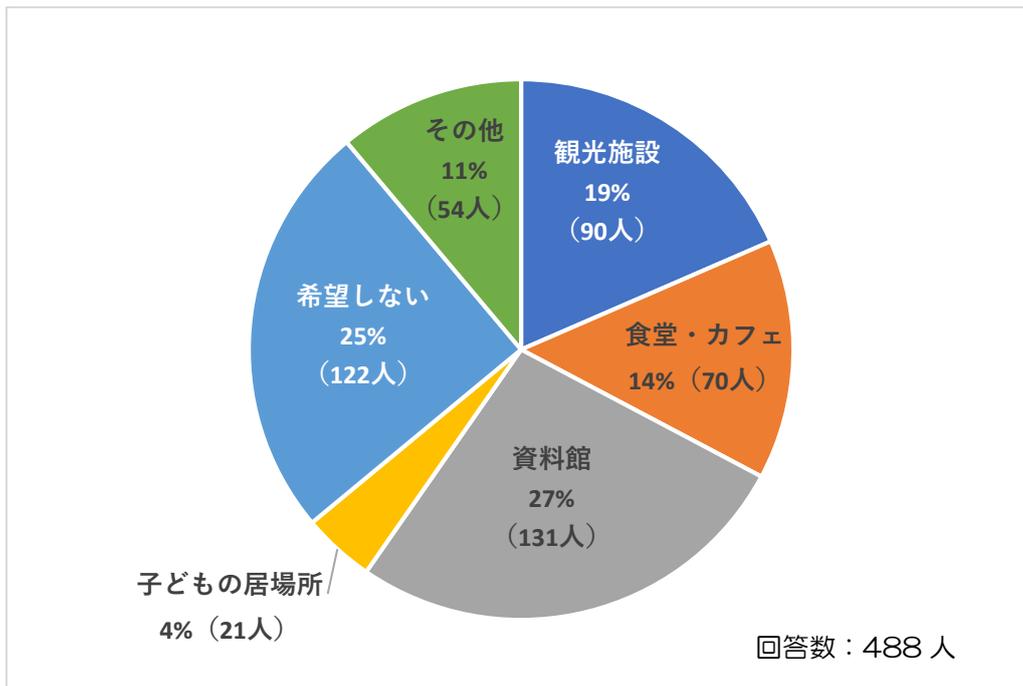
【問 13】

「旧平林家住宅（一星亭）」の保存・活用に向けて、村で活用方策を検討していることを知っていましたか。



【問 14】

「旧平林家住宅（一星亭）」の具体的な活用方法について、どのような形が望ましいと思いますか。



【具体的なご意見等】

【周知】

- ・知らない方も多くいると思うので（村外移住者）知ってもらうようにしてほしい。
- ・周囲を含め検討してもらいたい
- ・保存活用の為、クラウドファンディングを検討してはどうか。
- ・観光施設と保存。

【現状維持】

- ・何かに利用するのではなく手入れをしてそのままの保存でもいいと思っています。
- ・余計な金をかける必要はない

【解体】

- ・建物としては、残す価値は無いと思います。
- ・建物が古くて危険のため解体して他の施設を考える
- ・必要ないと思う
- ・こわす（いらない）
- ・解体が村民益

【重文指定】

- ・文化遺産からはずす 指定には住民意見収集が先、掌握が先
- ・見どころがないではないか（文化を示す物、一つとして残っていない。）
- ・登録有形文化財に登録された段階で保存義務が生じているはずだが。今更検討とは遅きに。

【資料館・歴史館】

- ・加藤先生の紹介は村の資料館に在るので十分だと思われます。
- ・資料館（加藤正治の資料館）
- ・資料館+村全体での博物館的な物

【飲食店・小売店等】

- ・ラーメン屋（尚念さんプロデュース）
- ・村の食材をふんだんに使った食事ができる場所
- ・昭和レトロを設置。例えば車・ブラウン管テレビ・ステレオ・洗濯機など
- ・食料品店希望
- ・カフェと資料館
- ・歴史的文化遺産でも、観光の目玉にはならなさそうなので、食堂・カフェ・レストランとして活用する

【知らない・わからない】

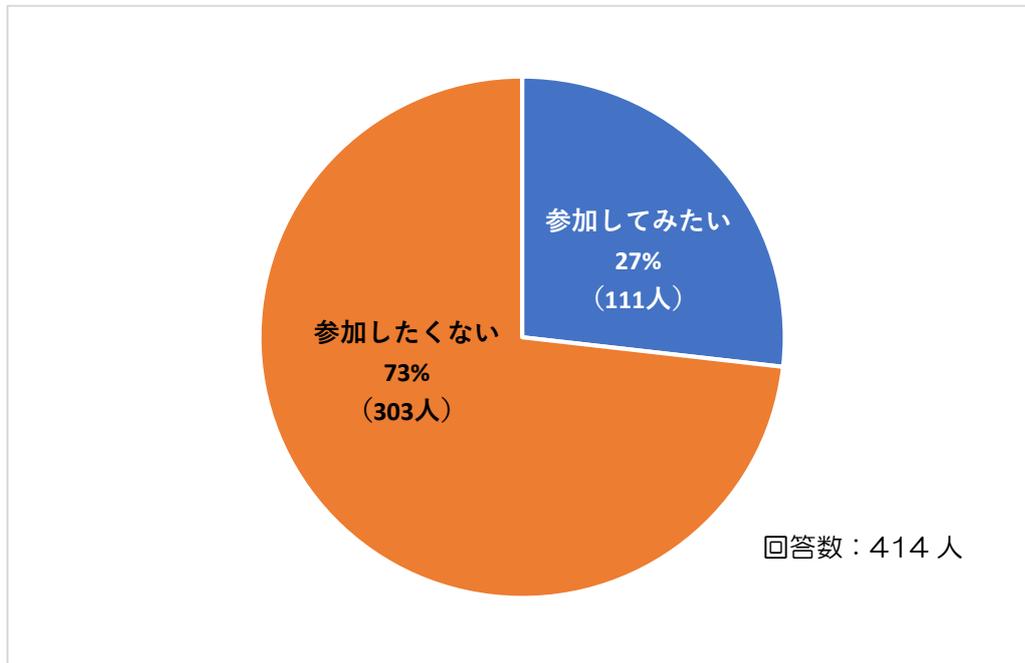
- ・わからない
- ・興味なし
- ・何でもよい
- ・実際に見た事がないので分からない
- ・判らない。いくらでも金をつぎこむ覚悟次第
- ・安易な活動は維持費を増大させるため、現状ではなんとも言えません。
- ・現状がわからない
- ・どのような住宅かわからないので、答えられない

【その他】

- ・お年寄りの集う所
- ・誰でも立ち寄れる憩いの場
- ・人が出入りして良いか、わからないので答えられない
- ・内容を知らないので、なんとも言えないが一般宿泊でも昔と繋がる感があれば良いと思う。
- ・駐車スペース、村道を整備し、文化財としての価値をアピールできる施設とするべき。
- ・イベントスペース
- ・見学場所として
- ・周囲の環境がよくないから整理する。
- ・人が集まる所は耐震化が必要であると思う。耐震化するには多額の費用がかかると聞いた。上の項目は、本当にやろうと思って聞いていることなのか。
- ・これ以上箱物の建設は反対です。

【問 15】

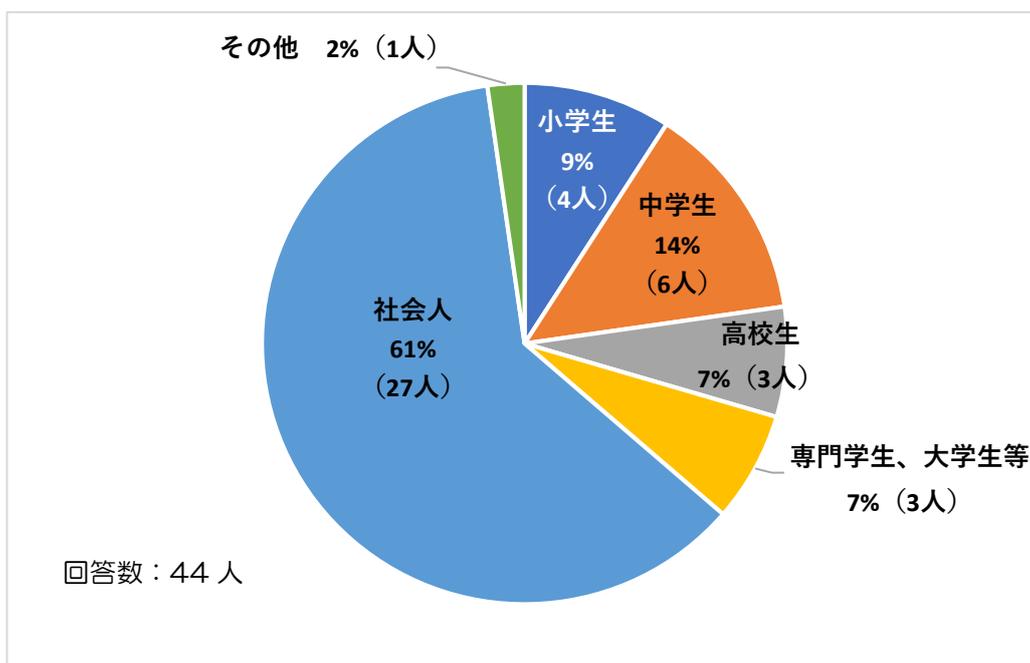
令和5年度から県の地域発元気づくり支援金を活用して、住民の皆様と協働で、建物内部の片づけ・整理、学習会や講演会などを開催する予定ですが、参加してみたいと思いますか。



9 若い世代が考える生坂村の将来像について

【問 16】

あなたの年代と、将来の生坂村について大事だと思うことやキーワード、理想とする村のイメージや希望・期待を教えてください。



【自由記載欄】

●小学生

- ・観光客が来てほしい。・温泉とかホテルを増やしてほしい。
- ・生坂のぶどうが有名になってほしい。
- ・大きい公園ができてほしい。
- ・ちがう地区の友達と放課後でも自由に遊べるように、いくりんがもっと乗りやすくなるとうれしい。
- ・学校のブランコの数を増やしてほしい。
- ・アスレチックや、遊園地を作って欲しい。

●中学生

- ・村民の意見をなるべく聞き、その意見を取り入れてほしい。
- ・ぶどうなどの特産物は生坂村の伝統があるから、人員が少なくなっていても、この特産物が無くならないようにしてほしい。
- ・アスレチックを作してほしい
- ・散歩をしていて気楽に休めるベンチがあったら良いと思います。年配の方でも使用できるのでは。バスの本数を減らしていくのではなく、最低現在の本数を続けていってほしい。
- ・自然を残してほしい（広葉樹をたくさん）
- ・花段の階段をつくってほしい。（安曇野地区のアルプス公園みたいな）
- ・村民の意見をもっと実行して、村をより良くしてほしい。
- ・学校の下校時刻にいくりんバスの時間が合わないの、親のお迎えが必要なので困る場合が多い。
- ・今よりもっと特産物が有名になり生坂村に移り住む人が多くなってほしい。
- ・自然が豊かで緑が多い風景が消えずにいてほしい。
- ・パラグライダーの体験が活発になり村外の人々にもっと魅力を感じてほしい
- ・お店をもっと増やしてほしい。
- ・他の町とか村にいっぱいたよらないでも自立できる村にするために生坂のものを活かしてできることをする。
- ・ぶどうやおやきをいろんな人たちにひろめていってほしい。

●高校生

- ・村民が、移住者たちをしっかりと受け入れてほしい。
- ・灰焼きおやきはもちろんのこと、生坂の名産ぶどうなど、未来へ受けついでいってほしいなと思う。
- ・村に、アスレチックなど、生坂の大自然を利用して、毎年多くの観光客が来てもらいそうなものを作ってほしいなと思う。
- ・生坂から池田町までトンネルを開けてほしい。
- ・四人峠は、ケータイの電波が無いので、電波塔を建ててほしい。
- ・明石に Hello cycling があるので生坂役場にもおいて、バス以外にも行く手段を増やしてほしい
- ・明科駅から 15:00 台のバスがなくて困る。
- ・通学路の街灯を増やしてほしい（電気代が高いなら通学時間帯だけ点灯させるなど） 村民のためになる政策に正しい予算を使って欲しいと思います。
- ・交通便が良い村
- ・もっと若い人が楽しめるように、生坂村独自のカフェなどを作ってほしい。
- ・かあさん家、道の駅の営業時間をのばしてほしい。
- ・上りの関屋下より北のいくりんの昼間の便をもっと増やしてほしい。

- ・ぶどうなどを使ったスイーツなどを売ったら良いと思う。
- ・カラットリンはぶどうのキャラクターなのに、生坂のゆるキャラみたいになっているから、別に作ってほしい。
小中学生から募集してみても良いと思う
- ・村議会の可視化、自然保護
- ・下り 26 便のデマンドバスについて。今の予約方法は、デマンドセンターに電話する、というものだと思いますが、この方法は、部活や友人と過ごす時間が多く、かつ大切なものである高校生にとっては、非常に使いづらいものとなってしまっていると思います。その理由としては、電話すること自体がかなり手間になるからです。というのも、電話をするために、教室等 人がたくさんいる所では しづらいで、一回人があまりいないところまで行ってから電話をしないといけないので、授業と授業の間の空き時間等ですることが出来ず、かなり不便です。ですので、電話ではなくオンラインで事前に予約できるようにしていただきたいです。Google フォーム等で予約ページ（名前、乗車する日付、行先等必要な情報を入力する）を作成し、その URL をデマンドセンターの HP かなにかにのせておけばデマンドバスを利用する人がいつでも、どこでも、それぞれ授業と授業の間に教室で予約することができるようになります。これだけでも大変使いやすくなるのですが、さらにキャンセルもできるようにしていただくと完璧かと思います。予約を管理する側の方も、この方式にすればパソコンか何かで予約ページに入力され送信されてきた情報を一目見るだけで誰が、いつ、どこまで行くのかすぐに把握できます。デマンドバスを利用できるのが学生のみということからも、なんやかんや忙しく、帰りが遅くなりがちな学生の為に運行してくださっているのだというのは分かりますが、現状、イマイチ使いにくいというのが正直なところです。もし学生の事を本当に思うのであれば、このオンライン予約方式に変更することを強くお願いします。オンライン予約方式に変わり、もっともっとデマンドバスが利用しやすくなることを、切に願っています。本当に長くなりましたが、どうかよろしくお願いします。

●専門学生、大学生等

- ・豊かな自然がずっと残ってほしい村に。
- ・自然を活かした観光地やアスレチックを作ってほしい。
- ・大学の授業で地元活性化のテーマで書いた案で、小中学校で提供されている給食を道の駅に出す。それにより、新たな住民、又は生坂を出ていった子どもたちを生坂に帰ってきてもらうきっかけを作るのではないかと考えました。さらに、給食を通して、生坂の「子育て支援」や、このような運動を行っていることを PR していくのが必要だと感じます。新たなものばかりに飛びつかず、今あるものを最大限に生かした上で、新たなものを加える方がいいのではないかと思います。全てが中途半端で終わると、有限不実行を若者たち（村に残っている、残ってくれるかもしれない）にネガティブな印象しか残らないです。今、やっていることを今一度確認した方が、今後の生坂を作っていくと思います。

●社会人

- ・豊かな自然が保たれるといいです。
- ・特に不満もないので今のままの生坂村でいてほしい。ぶどうやおやきなど特産のものはなくさないでほしい。
- ・このまま静かでのどかな村であって欲しい。
- ・村内にもっと働く場所がほしい。（会社、営業所、支店とか）誘致したら郷土食（灰焼きおやき、うどん）を大切に。
- ・豊かな自然の中で楽しく暮らせる村であってほしい。人の心を傷つけるようなチラシを配らず、みんなが仲良く話し合える村であってほしい。
- ・生坂村でしかない物を作った方が良いと思います。道の駅に子供が遊べる所を作るとか。
- ・食料品を買える店がないので村の中にスーパーがあるとよい。

- ・生坂村のフルーツをふんだんに使ったケーキやパフェが食べたい。常会費年 24000 円は他地域と比べて高すぎるので工夫してほしい。
- ・道の駅で、地元の野菜をふんだんに使ったお弁当やお惣菜を販売してほしい。道の駅に wi-fi スポットを作してほしい。
- ・脱炭素プロジェクトについてはとても期待していることを前提に、生坂村の景観や自然はすでに魅力的であると感じます。今回のプロジェクトの脱炭素のための生活インフラの改革に加え地震への強化（ハザードマップの周知、各家への耐震補強のうながし）や、各通信会社への通信圏の拡充の打診などを主に生活環境の質を上げていくことを実行すれば、生坂村の魅力が向上すると思います。
- ・サイクリングブームに便乗し、サイクリストの呼び込み強化（YouTuber に PR 依頼など）そのための環境整備も必要（道路上のコース表記、レンタル品の充実など）。若い世代へのアンケートはスマートフォンを活用するのが良いと思います。
- ・生活面での買い物等の便が良くなってほしい。
- ・電子タバコも取り扱って欲しい。
- ・石原団地と道の駅の間に横断歩道が欲しい
- ・安曇野ナンバーをつけたくない。合併しないでほしい。
- ・子どもたちが減少する現在、自由に家の中ではなく、外で元気に遊ぶことができる環境が必要だと思います。
- ・疲れない村。休日を家族のために使える村
- ・豊かな自然
- ・公共交通の充実
- ・ぶどうの活用
- ・村営バスを日曜日にも運行してほしい。
- ・村外者が多くなり昔からの生坂村の良い所が忘れられてしまっている。村外者の教育が必要。
- ・若者にもっとお金を回すべき もっと子育ての支援や結婚支援をしっかりとしてほしい
- ・生坂村の若者人口を増やす取り組みとして空き家バンクのサポート体制を充実させる。（他地域のように行政に専門の課を置く、複数人のチーム体制で取り組むなど）
- ・生坂村の関係人口を増やす取り組み（観光、特産品の強化など）
- ・移住支援、結婚、子育て支援など近隣地域との差別化があると良いと感じる。
- ・安心安全で自然を大切に作る村
- ・おやき、うどんの食文化を残してほしい。豊かな自然がずっと残ってほしい。
- ・若い人が生き生きと生活しやすい生坂村になってほしい
- ・子供が働ける村、場所があればと思う
- ・おやき屋がもっとあちこちにあるといい
- ・コンビニがほしい
- ・賑わいのある村
- ・横文字が多く混乱、理解できない事が多いです。アンケートの応答が書けないので、わかりやすい言葉にして頂きたいと思います。
- ・もっとぶどうが有名になってほしい。たくさん種類があって美味しいことを、村外県外にも発信したい。ぶどう狩りとかしてみたい。秋のぶどう以外にも他の季節の名産が欲しい。コンビニ、ショッピングモールのような豊かさではなく、自然を満喫する豊かさを売りに発展して欲しい。

●その他

(主婦) 住んでいる所の道路設備の見直し。とても自然豊かでもいいのですが…。村で外観設備してくれたら。

(不明) 若い人たちが定住してもらえるように施設、住宅、工場、店を

(不明)

- 若い人も高齢者も村内で働ける様な企業の誘致
- 農業公社をもっと充実させ農業の担い手となって田畑が荒れて行かないようにしてほしい
- 村でとれた米や小麦、大豆などを使って特産らしい加工品を作れたら良いと思う(袋入りでスーパーなどどこにでも置けるせんべいまんじゅうなど)

(不明) 要望ですが、上生坂梅月地区に石原団地ができ、8戸に全世帯入居されました。そして、乳幼児が12名います。近くに公園もなく遊ばせたくてもなかなかという声もきかれます。ぜひ、団地近くに公園が欲しいです。

以上